

岸高祭について

岸高祭とは、岸高生の岸高生による岸高生のためのお祭りである。……と言うだけでは説明にならないので、以下具体的に説明する。

岸高祭は、本来は文化祭と体育祭を合わせたものである。しかし、現在文化祭と体育祭は別々に行われており、文化祭のみを指して岸高祭ということもある。

岸高祭の始まりは、1948年11月にさかのぼる。ただしその要素の一部については岸高祭開催以前から存在し、運動会については1898年、開校直後から実施されており、大正時代初期までのそれは現在と同様の娯楽的なものであった。また、大正時代には校内で盛んに展覧会が開かれていた。また1947年には岸中創立50周年式典として運動会などが行われており、岸高祭はそれらの要素を受け継ぐ面もあると考えられる。創立以来一時期を除いて文化祭と体育祭は秋に連続して行われていたが、2006年に文化祭が9月、体育祭が6月と分離され、翌年に両者の時期が入れ替わり、以後現在に至る。

2019年度の第72回までは、西暦に53を足すか47を引いた数の下2桁が岸高祭の回数となる。ここからの記事では西暦の記述を省略することがあるが、この方法で西暦を割り出すことができる。

文化祭の時期について

1948年の第1回以来、第10回までは岸高祭は文化祭・体育祭ともに10月中旬に行われた。その後、第30回までと第38～54回では9月下旬開催となった。第31回（1978年）～37回（1984年）では1979年から行われた共通第一次学力試験（センター試験の前身）の影響により文化祭6月・体育祭9月の分割開催となったが、結局はあまり意味がなかったのか第38回では以前の9月同時開催に戻った。

その後、第55～58回では9月上旬開催となった後、第59回（2006年）で文化祭9月・体育祭6月の分割開催となり、翌年の第60回からは文化祭は6月、体育祭は9月に開催されるようになった。

組織

長らく岸高祭の運営は岸高祭実行委員会によって行われていた。これは一部の自治会委員会（代議員からなる委員会のこと）と十数個の小委員会によって構成されており、小委員会は四役・各学年執行委員（代議員の学年代表）・岸高祭実行委員と各分掌から数名ずつ割り当てられた教員（学級担任は対象外、2005年の場合は計22名）によって構成されていた。また、特定の委員会には放送部員も加わっていた。

岸高祭についての意思決定機関として岸高祭運営委員会も存在していた。これは四役・岸高祭関連の委員会委員長、自治会顧問で構成されていた。

しかし、2013年度から2016年度の間には岸高祭実行委員会は廃止され、運営については教員と自治会執行部、実務については自治会執行部・代議員・学級委員に直接割り振ることとなった。

下の表は、2003年度の岸高祭に関連する自治会委員会とその活動内容である。

委員会名	活動内容（2003年度）
文化	アトラクションコンサート（～1999年度）
集会	岸高祭の開・閉会式 後夜祭のファイヤーストーム
庶務	ポスターの募集 ビデオ記録
厚生	募金
会計	岸高祭予算

下の表は、2005年度の岸高祭実行委員会小委員会の一覧である。

委員会名	活動内容
総務	広報活動、統一テーマの募集、岸高祭参加団体の募集など
準備	プログラム製作、机移動、物品貸し出し
討公	提案者の募集、提案内容資料作成、会場の割り当て、生徒の振り分け
芸能祭	芸能祭参加部門の運営、当日の多目的ホール当番
視聴覚	視聴覚部門の運営、機器貸出、撮影・編集の技術指導、当日の当番など
展示	展示製作部門の運営（門の製作・物品バザーを含む）、展示部門部屋の割り振り
食品バザー	食品バザーの指導、衛生管理、当日の調理室当番
体育祭	プログラム・手引き・メンバー表作成、準備と片付け
放送	多目的ホールの放送機器準備、体育祭の放送、テープの準備
警備	文化祭・体育祭の警備、校内巡視、自転車置き場の案内、延長の届け出
衛生	ゴミの分別収集、ゴミ箱の設置
金券	金券の作成、金券関係の会計処理

2012年度では以下の通りである。2005年度から変更された点を記載している。

総務：SFC・東日本大震災への募金が追加され、岸高祭参加団体の募集が削除

備品（元・準備）：プログラム製作、机移動が削除

討公：廃止

芸能祭：芸能祭参加部門の運営が削除

製作・イベント・展示・映像（元・展示、視聴覚）：不明

食品バザー：不明

体育祭、放送：体育祭と文化祭の分離により岸高祭実行委員会としては廃止

警備：下校指導・空き教室の戸締りの点検が追加され、延長の届け出が削除

衛生：SFCのペンキ汚れ防止が追加

金券：変化なし

1998年度以降の各委員会の変遷は以下の通りである。

- ・ 1999年度：物品バザーがバザー委員会から展示委員会に移行
- ・ 2001年度：バザー委員会から金券委員会が独立
- ・ 2006年度：文化祭と体育祭の時期が分離されたことから、体育祭委員会と放送委員会が分離される
- ・ 2007年度：討公の廃止に伴い討公委員会も廃止される
- ・ 2008年度：視聴覚、展示、食品バザー委員会の生徒割り当てが廃止され、教員のみの組織となる
- ・ 2009年度：展示委員会が製作・イベント・展示委員会となる
- ・ 2010年度のある資料では委員会ではなく係と呼称されている
- ・ 2012年度では準備委員会が備品委員会となっている

各企画補助金

岸高祭に参加する各クラス・クラブへの補助金の一覧である。空欄の箇所は不明である。

	芸能祭	視聴覚・ 展示	正門	物品 バザー	食品 バザー	クラブ 物品バザー	クラブ その他
1997		1000	10000	3000	1000		1000
1998	3000	3000		1000	1000	1000	3000
1999	4000	3000	20000		0		3000
2000	4000	3000	20000*2	3000	0		3000
2001	4000	3000	20000*2	3000	0	3000	3000
2002	4000	3000	企画なし	3000	0	3000	3000
2003	5000	3000	企画なし	3000	0	3000	3000
2004	5000	3000	20000	3000	0	3000	3000
2005	10000	3000	企画なし	3000	0	3000	3000
2006	8000	3000	20000	0	0	3000	3000
2007	8000	3000	20000	3000	0	3000	3000

	芸能祭	正門	有料企画	無料企画	クラブ 有料企画	クラブ 無料企画
2008	8000	企画なし	0	3000	0	3000
2009	12000	企画なし	4000	7000	0	3000
2010	12000	企画なし	4000	7000	0	3000
2011	12000	企画なし	4000	7000	0	3000
2012	12000	企画なし	4000	7000	0	3000
2013	12000	企画なし	4000	7000	0	3000
2014		企画なし	4000		0	
2015		企画なし				
2016	12000		4000	7000	0	3000
2017	13000	企画なし	5000	8000		
2018	13000	企画なし	5000	8000		

プログラム・ポスター史

自治会室に残っている最古のプログラムは第28回（1975年）のものであり、その後、第39回以外のプログラムが残っている。また、ポスターに関しては第30～48回のうち33,38回以外が残っている。ここでは、自治会室に残っている回について、プログラムの変遷を解説する。

ページの数え方：表紙（表の一番右側にある）が1ページ、その後裏返して左から2,3,・・・と進み、表に戻って左から数える。

例として4つ折りの場合は、6781 2345というようになる（1の裏が2、5の裏が6）。

第28～37回

第28回

この頃のプログラムはA4×3枚分の大きさを4つ折りにしたもので、非常に大きかった。

P1：表紙絵、前夜祭

P2、P3：芸能祭

P4：バザー

P5：体育祭プログラム

P6：校歌、開・閉会式、得点表、運動場略図

P7：生徒控室、討論分科会

P8：統一テーマ、展示会、公開講座分科会

第29回

紙の大きさがA4大×2枚分に小さくなった。統一テーマがP1（表紙）に移動して目立つようになった。

第30回

校内の地図、テーマソング、シンボルマークが追加された。このうち校内の地図は翌年以降も掲載されるようになり、テーマソングの掲載は第33回で復活してしばらく続いたが、シンボルマークの掲載は今回限りとなった。一方生徒控室の掲載がなくなった。その他の内容も掲載ページが変更されている。

P1：表紙絵、統一テーマ、校歌・テーマソング

P2：シンボルマーク、前夜祭、討論分科会、公開講座

P3、P4：芸能祭

P5：体育祭プログラム

P6：開・閉会式、得点表、運動場略図、仮装行列

P7：展示会、校内略図

P8：バザー、校内略図

第31回

この年から文化祭と体育祭が分離されたため、プログラムデザインも変更されている。

大きさはB5×3枚分となった。ゲーム（囲碁・将棋・オセロ）の開催場所が追加され、生徒控

室の掲載が復活した一方、討公のテーマ一覧が削除された。

第32～36回

第32回では公開講座のテーマ一覧が削除された。第33回ではゲームと校歌が削除され、テーマソングと外来者の方への注意書きが掲載された。その後は第33回を踏襲している。

第37回

B4の3つ折り。紙は小さくなったが重要な情報は極力残されており、削除された内容はアクションコンサートの団体一覧と生徒控室のみである。

第38～52回

第38～40回

文化祭と体育祭が同時開催に戻った。A4大×2枚分、4つ折り。

P2～5が文化祭、P6が校内地図、P7・8が体育祭と、紙面が開催日ごとにはっきり分かれている。内容としては、テーマソングが校歌に差し替えられ、東館完成によって視聴覚部門が新設されたことによりその記述が追加された。

第41回～52回

第41回でP5が校内地図、P6とP7上部が視聴覚部門とバザー部門になった。その後は安定期に入り、10年以上そのレイアウトを踏襲している。

変更点として、第44回からプログラムに色がつき、大きさがA4小×2枚分となった。また、第50回のみ文字の色が多色刷りとなっている。第52回では校歌が削除され、視聴覚部門のスペースが拡大した。

なお、第52回での紹介文の文字数は、バザー・展示が20字、芸能祭が45字、視聴覚が39字。タイトルは視聴覚と食品バザーが20字、他は無制限である。

第53～58回

第53回

外部への印刷委託を取りやめ校内印刷とし、費用を削減した。

サイズは一般的なB4規格の4つ折りになった。略図と食品バザーの位置が入れ替わっているが、レイアウトの変更はない。

正直全体的にやや見づらくなった点もあるのだが、上記のような事情や、校舎改築の影響で展示場所が複雑になった（1日目と2日目が違う場所、芸能祭に市民会館を使用など）ことを考えると仕方がないと言えるだろう。

紹介文の文字数は、バザー・展示が20字、芸能祭・視聴覚が40字まで。タイトルはバザー・展示のみ20字制限がある。

第54・55回

文化祭のプログラムと体育祭のプログラムが分離された。

文化祭はB4の2つ折り、体育祭はB5×1枚に。これによりプログラムを折った後の横幅が大きくなったため、会場の地図が大きくなり見やすくなった。

また、資料で明言されていないものの、体育祭プログラムが分離されスペースに余裕がで

きたことを活かしたと思われる工夫が見られる。第54回では各企画の紹介文がタイトル含めて最大58字程度に緩和された。一方第55回では紹介文は最大25字となり短くなっているが、ページ内の2段分けを取りやめたことにより企画の開催場所が分かりやすくなった。

ただ、第55回では開会式式次、視聴覚部門の場所表記が削除されている。前者は簡略化の意味があったと思われるが、後者に関しては悪くなってしまった点だといえるだろう。

なお、第54回の文化祭プログラムは白い紙に印刷されたものしか残っていないが、同年度の体育祭プログラムが黄色であることから文化祭の方も同様と思われる。

第56回

今回から再び文化祭と体育祭のプログラムが統一され、A3の3つ折りになったのだが……。

その実態はというと、紙が大きく余白があるにもかかわらずやたら小さい字、クラブ企画の説明文が人権問題研究部を除いて廃止され、クラスの説明文の字数も第55回から輪をかけて減少（53回：20字または40字、55回：25字、56回：17字）、3つ折りになった影響からか一部半角がけで書かれた競技名（左側にスペースはありそうなのだが…）、なぜか昨年と比べて情報量が少なくなった体育祭会場図、新規に作成された文化祭会場図も見づらい、この年から復活した中庭イベントの記述も無い……など、内容・レイアウトともにかなり劣化した代物であった。

昨年から改善された部分は視聴覚部門の場所表記が復活したことと、「団長のからの一言」の追加くらいである。

準備委員会の総括には、「斬新なアイデアを採用しようと思いつつも、常識の壁を打破することができず、メンバー全員えもいわれぬ葛藤に苦しめられていた。結局、保守的な形状になってしまった。次回作成する人々には、見易く且画期的なデザインを作って、岸高祭をプログラム配布の時点から盛り上げて欲しい。（後略）」とあり、当時の担当者にとっても不本意なものであったようだ。

なお、今回から第59回までオリジナルの表紙絵が消滅しているが、これに関してはポスターの作成が行われなくなったこと（ただしその具体的な年は不明）が一因の可能性がある。

第57回

紙の大きさがB4に戻った。

クラブ企画の紹介文が復活したほか、金券が必要か否かが新しく追加されるなど昨年と比べて改良されている。なお、体育祭団長の紹介文は廃止された。

紹介文は最大16字。第58・59回も同じ仕様である。

総括には「プログラムにオリジナリティをもたせるようにしてほしいです。」とある。

第58回

かなり改良された。文字が大きくなり、随所に外枠が見られ区切りがわかりやすくなり、自転車置き場の場所情報が追加、従来とは比べ物にならないほど適切なフォント使いなど、とても見やすくなっている。また、中庭イベントの記述が目立つ形で記載された（地図には前年から記載）。

統一テーマの表示がないが、テーマが急遽変更されたことを原因としている可能性がある。

第59回～現在

第59回

文化祭と体育祭の日程が9月と6月に分離され、必然的にプログラムも分離された。

プログラムは第54・55回と同じB4サイズ用紙の2つ折りに。内容は以下の通りである。

P1（表紙）：表紙絵・日程・注意事項

P2（見開きページ左）上部：1日目（芸能祭・視聴覚部門・食品バザー・中庭イベント）

P3（見開きページ右）上部：2日目（P2上部に加え、PTAバザーも）

P2下部：製作・展示・演奏

P3下部：物品バザー

P4（裏表紙）：校内の地図

このように現在まで続くフォーマットの基礎が形作られた。一方で今とは違い挿絵が多用されているのも特徴。また、P2とP3の間の折り目にイラストが描かれている。これは翌年度と第62回にも引き継がれた。

なお、SFC（クラス旗コンクール）など一部の内容が1日目と2日目で重複している。この問題は年月が経つごとに深刻化することに。

総括には「大きさや内容はよかったが、見やすさはもう一工夫必要。」とある。

第60回

校内の地図が一新された（翌年に微変更、その後第70回まで使用）。また、閉会式イベントの記述が追加された。

なお、当年度では「ありったけの愛」がコンセプトとなっており（統一テーマもこれを元に行っている）、プログラムにもハートマークが多数使用されている。また、第55回以来5年ぶりに手書きの表紙絵が復活した。

第61回

第70回まで使用された、日付と仕切りの飾りが初登場。物品バザーと製作・展示・演奏の場所が逆になった。なお、閉会式イベントの記述は削除されている。

準備委員会の総括にプログラムについての記述があり、わかりやすくよかった、会場図の変更により書き換えがしやすくなったと好評だった。また顧問は、美術部やアニメ研とかに表紙のキャッチコピーを依頼することでイメージアップが計れるのでは、と述べている。

第62回

表紙のデザインが変更された。また、食品バザーが物品バザーの欄に統合された。これにより、第70回まで続くフォーマットがほぼ完成した。

なお、このころから出し物の説明文が長くなっているが、詳細は不明。

第63回

企画のタイトルに創英角ポップ体が使われるようになった。また、食堂の記述が登場している。

第64回

見開き左下部がクラス企画、右下部がクラブ企画となった。また、全クラスの企画が自教室で行われるようになったため、見開きページ内の場所表示が削除された（裏表紙の地図は継続）。そのほか、閉会式イベントの記述が追加された。

なお文字のフォントが変更されたが、見づらかったためか翌年度には元に戻された。

第66～70回

前年度から視聴覚部門が参加クラスの教室で行われるようになったことを反映し、軽音楽部が見開きページ上部の視聴覚部門欄から見開きページ右下のクラブ企画欄に移動した。その他はほぼ同じである。

ただし、第68回で正門アーチ、第70回でジャンル表示と金券使用の有無が追加されている。

また、なぜか第70回ではページの開き方が左開きとなった。

第71回

前年度の執行部により、レイアウトの変更が行われた。

P2に芸能祭などの催しがまとめられ、P3にクラス・クラブ企画がまとめて配置された。これにより、正門アーチや本部企画などがP2とP3で重複して記載されていたのを解消した。また見出しや仕切りのデザインを変更してスペースを削減。これらにより空いたスペースを活かしてSFCと昼休みイベントに説明文を追加した（後者は執行部ではなく教員によるもの）。

また、裏表紙の地図は、岸高の実寸大データを基に新規に作成されたものとなった。その他表紙のお願いなども一部変更されている。

しかし、ページの開き方が左開きのままだったり（一部の版では修正されている）、昼休みイベントなどの文字の大きさのバランスがおかしかったり、地図の立入禁止区域の表示がずれているなど、問題点もあった。

第72回

芸能祭の説明文が一部を除いて横長の文字になった。

ページの開き方が右開きに修正された。また、外来客用のプログラムに使用されている紙が色付きでなくなった。昼休みイベントなどの文字の大きさのバランスがおかしかったり、地図の立入禁止区域の表示がずれているといった点は修正されていない。

正門アーチについて

正門アーチの歴史については、実はかなり深い。1984年の文化祭プログラムには「校内装飾 1-7 アーチ」という記述がある。

門の装飾が行われたとは断定することはできないが、このころからクラス企画による学校の装飾が行われたことがわかる。

門の装飾または製作が行われたとはっきり断定できるのは、1987年の岸高祭。その後、校舎の建て替えによる中断を挟みながらも、2007年まではクラス企画による門の製作が行われていた。ただし、その形式は現在とは少し異なるものであったようだ。

(図1は2007年の1年6組「くにもん」。正門そのものではなく、正門の奥に装飾があることがわかる。)

また、2004年には自治会による8m×8mの垂れ幕の制作も行われている。

しかし2008年は門の製作は行われなかった。(図2、校舎に布でテーマ掲示が行われたのみ。)



(図1 (左): 2007年、図2 (中): 2008年、図3 (右): 2009年)

翌年、2009年には、自治会により、図3の左下のように正門に低い柱を立て、「第六十二回岸高祭」という字が掲げられた。これが現在の形式の正門アーチの始まりである。

2011年には現在と同じ柱が使われるようになり (図4の左側)、その後しばらくは同じデザインが使い回されていたものの、2014年に横断幕が掲げられるようになり (図6)、その後は毎年異なるデザインとなっている。



(図4 (左): 2011年、図5 (中): 2013年、図6 (右): 2014年)

2016年度には9年ぶりにクラス企画により正門アーチが制作されたものの、基本的に正門アーチは自治会執行部が制作している。正門アーチにより見栄えが良くなっている一方で、執行部員の負担が大きいという問題もある。苦勞して作ったのにクオリティが低すぎるなんて言われた日には――



(図7 (左) : 2015年、図8 (中) : 2016年、図9 (右) : 2017年)

そのこともあってか、2019年度は従来の正門アーチが制作されなくなり、2008年度と同様に壁面に装飾が施されるのみとなった。

資料

芸能祭

2000：舞台稽古40分*2回、リハーサル1回（両方とも市民会館）

受付として、各時間帯3～4人、7*2時間帯

2009：立ち稽古1回、舞台稽古3回、リハーサル2回

2010：立ち稽古30分*1回、舞台稽古40分*3回、リハーサル2回

芸能祭の中心は演出係、次に作者、舞台監督は任意

2011：立ち稽古30分*1回、舞台稽古40分*3回、リハーサル30分*1回、プレ公演1回

2012：芸能祭の音響はCD・MD・USBメモリ・SDカード・マイクが使用可能。

サンプリングはCD・MD・マイクのみ。

従来の音響・照明・装置講習会に加え、照明講習会（照明係に機器を操作してもらう）が追加。

体育祭

障害物競走のコース内容

2004年：麻袋、二重縄跳び5回、跳び箱、ハードル、ざるをボールで運ぶ、竹馬

2006～08年：麻袋、二重縄跳び5回、コーンバー潜り、ハードル、ざるをボールで運ぶ、竹ぼっくり

2014,15,17,18年：麻袋、二重縄跳び5回、コーンバー潜り、ハードル、（交代）、ざるをボールで運ぶ、竹ぼっくり

2016年：麻袋、綱潜り、第1走者と第2走者が共同でカードに書かれたものを借りに行く、竹ぼっくり、粉の中の飴を食べる

パフォの人数

2006～08年：1団50名以内

2014年：パフォは1団60名以内、3年は40名以内

2016年：パフォは70名以内

2017,18年：パフォは1団73名以内、3年は43名以内（3年生の3役を含む）

クラブ対抗リレー

2014年：クラブ対抗リレーは4人400m

2017,18年：クラブ対抗リレーは4人200m

開催時間

2006年度以降はプログラム、それ以前は自治会所蔵資料による。

1998・99：土曜日は15：10に点呼、日曜日は14：30から装飾を片付け、15：00から講堂も片付け

2001：1日目は9：45～15：00、2日目は15：30まで

2002 : 1日目は芸能祭が9 : 30、他が10 : 00開始で15 : 20終了、2日目は15 : 00終了
2003 : 芸能祭開場が9 : 00、開演が9 : 30～15 : 10、他が10 : 00開場、14 : 30片付け開始
2004 : 開始時間が9 : 30に
2005 : 9:00～15:00
2006以降 : 9:00～15:00

開会式の流れ

2000年度はプログラム、他は自治会所蔵資料より

1998 : 開会宣言、会長挨拶、校長挨拶、統一テーマ・ポスターの表彰、ファンファーレ&風船あげ、諸連絡

プログラムではファンファーレが開会宣言の後にある。

1999 : 会長挨拶、校長挨拶、統一テーマ・ポスターの表彰、開会宣言、ファンファーレ、風船あげ&クラッカー、諸連絡

2000 : 校長挨拶、会長挨拶、開会宣言、風船あげ&クラッカー、ファンファーレ、諸連絡

2001 : 1グラ。校長挨拶、会長挨拶、諸連絡、開会宣言（集会委員長）、ファンファーレ&風船あげ&クラッカー

プログラムでは諸連絡が最後となっているほか、ファンファーレが他の2つより早い。

2002 : 校長挨拶、会長挨拶、開会宣言（副会長）、ファンファーレ、花火、諸連絡

総括によると、ゴミが少ない、風船とクラッカーの準備時間がなくスムーズと好評だった。
会長挨拶が校長挨拶より後なのはおかしいと意見があった。

2003 : 1グラ。校長挨拶、会長挨拶、開会宣言（会長）、ファンファーレ、花火&クラッカー、諸連絡

花火にはパラシュートがついていた。

2004 : 中庭。会長挨拶、校長挨拶、開会宣言（副会長）、ファンファーレ、花火&クラッカー、諸連絡

2006 : 会長挨拶、諸連絡、開会宣言・クラッカー、ファンファーレ、風船、DONクラッカー

2007 : 会長挨拶、校長挨拶、クラスアピール、開会宣言・クラッカー、ファンファーレ・風船、DONクラッカー

2008 : 校長、自治会指導部長挨拶、会長挨拶、警備委員長の諸注意、クラスアピール、開会宣言、ファンファーレ→クラッカー→風船

閉会式の流れ

1998 : 体育大会閉会式終了後、副会長挨拶、校歌斉唱・校旗降納、閉会宣言、諸連絡

1999 : 体育大会閉会式終了後、副会長挨拶、学校長講評、校歌斉唱・校旗降納、閉会宣言、諸連絡

2001 : 第1グラウンドで開催。各委員会講評（無かったという説も）、副会長挨拶、学校長挨拶、PTA会長挨拶、校歌斉唱・校旗降納、閉会宣言（副集会委員長）、諸連絡

2002 : 会長挨拶、学校長挨拶、PTA会長挨拶、校歌斉唱・校旗降納、閉会宣言（副会長）、諸連絡

絡

2003 : 会長挨拶、教頭講評、PTA会長挨拶、校歌斉唱・校旗降納、閉会宣言（副会長）、諸連絡

2004 : 書記挨拶、教頭講評、閉会あいさつ（会計）

2010 : 16 : 00からSFC発表と閉会イベント3団体

2012 : 16 : 00～16 : 45まで、閉会イベント3団体（SFC発表は不明）

2013 : 16 : 30～17 : 00まで、閉会イベント2団体（SFC発表は不明）

2017 : 17 : 00～17:30、SFC発表と閉会イベント1団体

2018 : 16 : 45からSFC発表と閉会イベント1団体

ファイヤーストームの流れ

1998・99 : 中庭で点火、フォークダンス、解散（16 : 30～18 : 00）

2001 : 1グラ。16 : 30～18 : 30、第一グラウンドでフォークダンス、

2002 : 1グラ。16 : 30～18 : 30、第一グラウンドでフォークダンス、最後は花火

2003 : 中庭開催

2005 : 16 : 30から、ドラゴン花火

2006 : 文化祭後の17 : 00から、16 : 00～50は中庭イベント、しかし中止に

2007 : 体育祭後の17 : 00から、花火・アメ・シャボン玉・点火 音楽スタート 18 : 15打ち上げ花火 18 : 30消火

2008 : 体育祭後の17 : 00から、アメ配布→校舎からワイヤーを使って点火 17 : 15音楽スタート 18 : 15打ち上げ花火

2012 : 17 : 00から、ダンス・キャンプファイヤー・花火

2014 : 16 : 50からフォークダンスの練習、17 : 00からダンス・キャンプファイヤー・花火